

令和6年度事業計画

赤い羽根共同募金運動は、昭和22年に市民が主体の民間運動として始まり、本年度で78回目を迎えます。

近年では、住民同士の繋がり希薄化による社会的孤立や高齢者等の生活課題、生活の維持が困難になる方など、本町においても地域の福祉課題が多様化しています。これらの地域の様々な課題に柔軟に対応するための民間社会福祉活動を支える為、赤い羽根共同募金はさらに重要性を増しています。

本年度は、赤い羽根チャレンジ選手権の実施や、寄付つき商品の推進、祭りひさやまでの募金活動等に加え、法人募金や募金箱設置の新規開拓を図るとともに、住民への啓発を図ります。

また、本年度も「ボランティア育成・福祉団体等助成金」を広く周知し、課題解決に取り組むボランティア団体等の活動を支え、地域福祉活動の促進を図ります。

重点的に取り組む事項

1. 募金増額に向けた取り組み
2. 広報啓発活動の強化

事業実施計画

1. 募金増額に向けた取り組み

- (1) 戸別募金の協力依頼
- (2) 法人等へ募金の協力依頼
- (3) 寄付つき商品の推進（募金百貨店、自動販売機）
- (4) 個人募金の協力依頼（チャレンジ選手権等）
- (5) 募金箱設置の推進
- (6) 新たな募金方法の検討

2. 広報啓発活動の強化

- (1) 街頭・イベント募金の実施（Aコープ、トリアス、祭りひさやま）
- (2) 全戸配布チラシによる広報活動
- (3) 社協だより、ホームページ、フェイスブック等による情報発信
- (4) 「ボランティア育成・福祉団体等助成金」の周知活動